

主要コンテナ航路の荷動き動向 (速報値※)

(公財)日本海事センター・企画研究部

(公財)日本海事センター・企画研究部は、PIERS (Port of Import/Export Reporting Service) の統計データを基に、『日本・アジア / 米国間のコンテナ貨物の荷動き動向』を毎月発表しております。それに加えて、欧州航路、日中航路、アジア域内航路の荷動き動向も発表しております。

主要航路の荷動きのポイント

北米航路 往航 (2019年6月) 1,445,366TEU (0.5%増) (2018年6月: 1,438,355TEU)
 復航 (2019年4月) 639,606TEU (13.3%増) (2018年4月: 564,444TEU)
 ・《中国積みは前年比 6.9%の減、一方で韓国、台湾、ASEAN、インドが増加》

- 北米往航 (アジアから米国) は、前年比 0.5%増で 4 か月連続のプラス。2019年6月の中国 (塩田) - ニューヨーク間の運賃は前年比 12.6%増の 2,240 ドル/TEU で 13 か月連続のプラス。
- 北米復航 (米国からアジア) は、前年比 13.3%増で、3 か月振りのプラス。2019年6月のニューヨーク-中国 (塩田) 間の運賃は前年比 27.4%増の 790 ドル/TEU で 12 か月連続のプラス。

欧州航路 往航 (2019年5月) 1,463,664TEU (5.7%増) (2018年5月: 1,384,467 TEU)
 ・《5月の荷動き量は、往復航共に統計開始以来、最高》
 復航 (2019年5月) 701,454 TEU (8.7%増) (2018年5月: 645,188 TEU)

- 欧州往航 (アジアから欧州) は前年比 5.7%増で 3 か月連続のプラス。2019年6月の中国 (塩田) - 英国 (フェリックストウ) 間の運賃は、前年比 1.7%増の 1,190 ドル/TEU で 4 か月連続のプラス。
- 欧州復航 (欧州からアジア) は前年比 8.7%増で 5 か月連続のプラス。2019年6月の英国 (フェリックストウ) - 中国 (塩田) 間の運賃は前年比 2.2%減の 910 ドル/TEU で 15 か月連続のマイナス。

日中航路 往航 (2019年5月) 826,941 トン (17.1%減) (2018年5月: 997,753 トン)
 ・《5月の荷動き量は、統計開始以来、最低》
 復航 (2019年5月) 1,983,625 トン (4.6%減) (2018年5月: 2,080,025 トン)

- 日中往航 (日本から中国) は、前年比 17.1%減で 3 か月連続のマイナス。金額ベースでは前年比 11.6%減の 6,421 億円で 3 か月連続のマイナス。2019年6月の横浜-上海間の運賃は前年比 24.3%増の 460 ドル/TEU で 10 か月連続のプラス。
- 日中復航 (中国から日本) は、前年比 4.6%減で 3 か月振りのマイナス。金額ベースでは前年比 3.9%減の 1 兆 1,214 億円で 3 か月振りのマイナス。2019年6月の上海発-横浜向の運賃は 630 ドル/TEU で 3 か月連続のプラス。

アジア域内航路 (2019年5月) 4,236,200 TEU (2.1%増) (2018年5月: 4,149,200 TEU)

- CTS 社による集計では、前年比 2.1%増となる 424 万 TEU で 3 か月連続のプラス。2019年6月のアジア域内コンテナ運賃指数 (US\$/FEU) は前年比 11.9%増の 821 ドル/FEU で 6 か月連続のプラス。

注1: 速報値ベースでの発表のため、後に修正が加わる場合がある。

注2: 日中航路荷動き量は財務省「貿易統計」をもとにした (公財) 日本海事センターによるトンベースでの推計。

注3: 運賃指数は Drewry, *Container Freight Rate Insight* に基づく

図 - 1 北米航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: TEU)

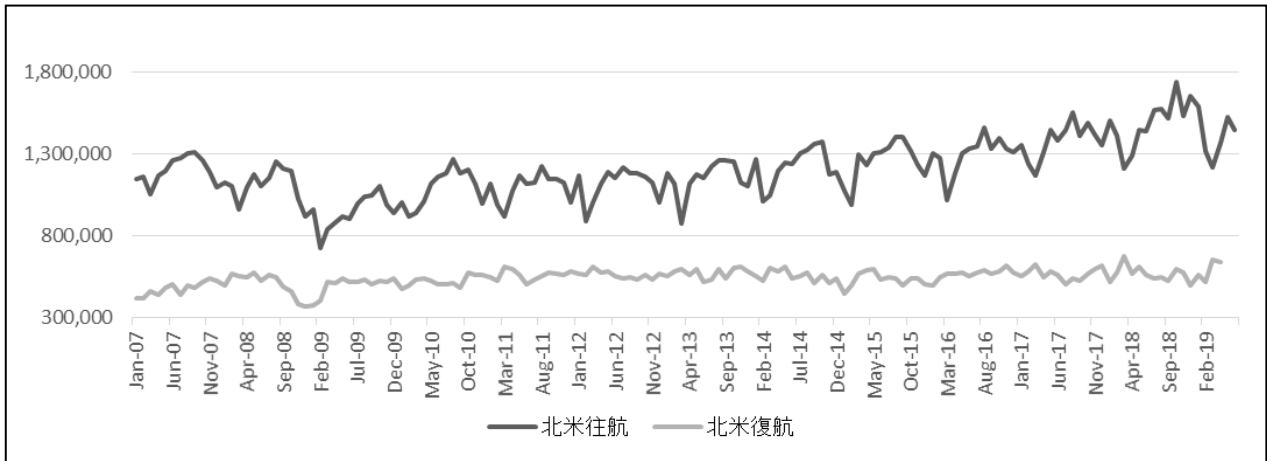


図 - 2 欧州航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: TEU)

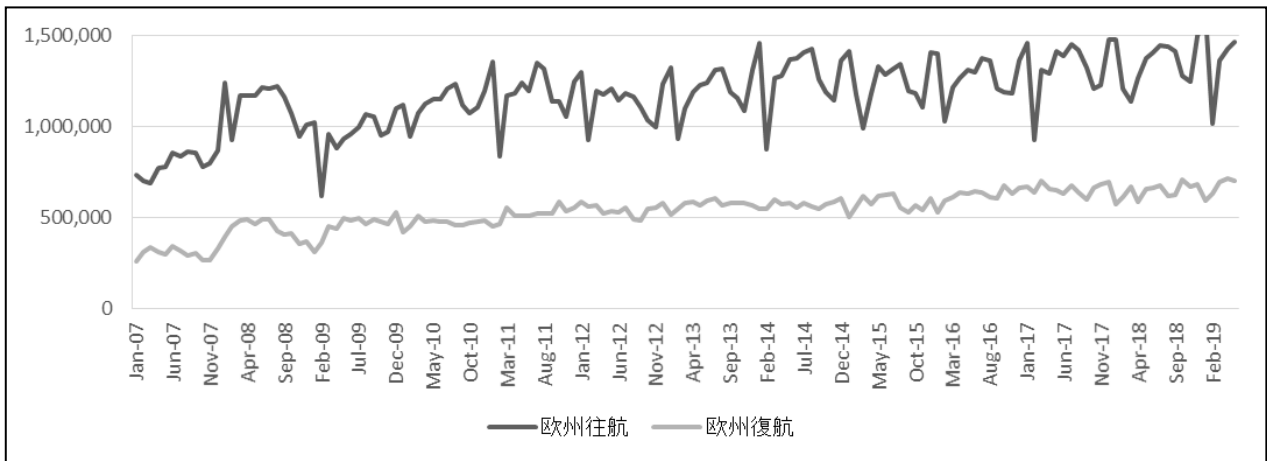


図 - 3 日中航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: トン)

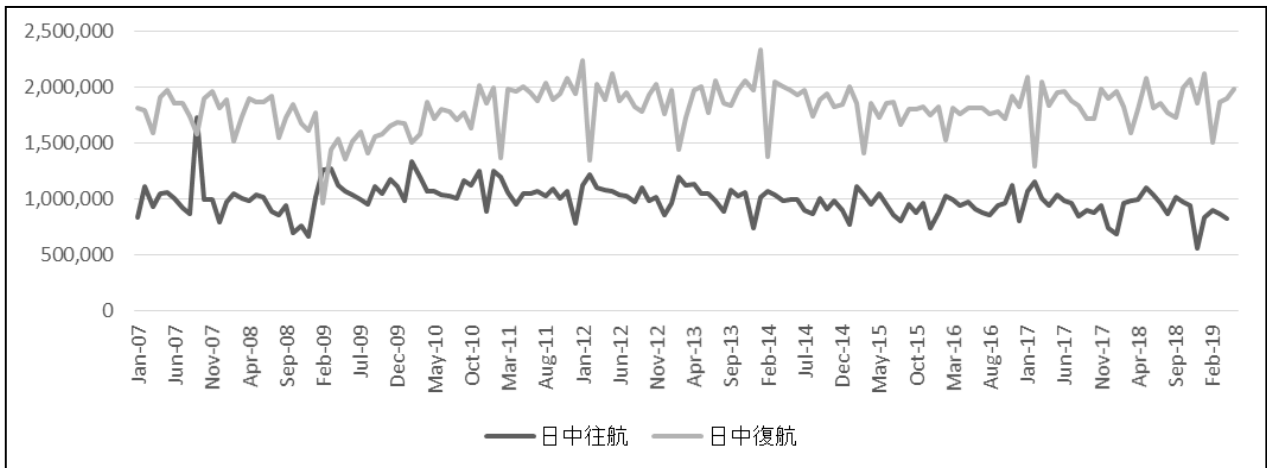


図 - 4 アジア域内航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位 : TEU)

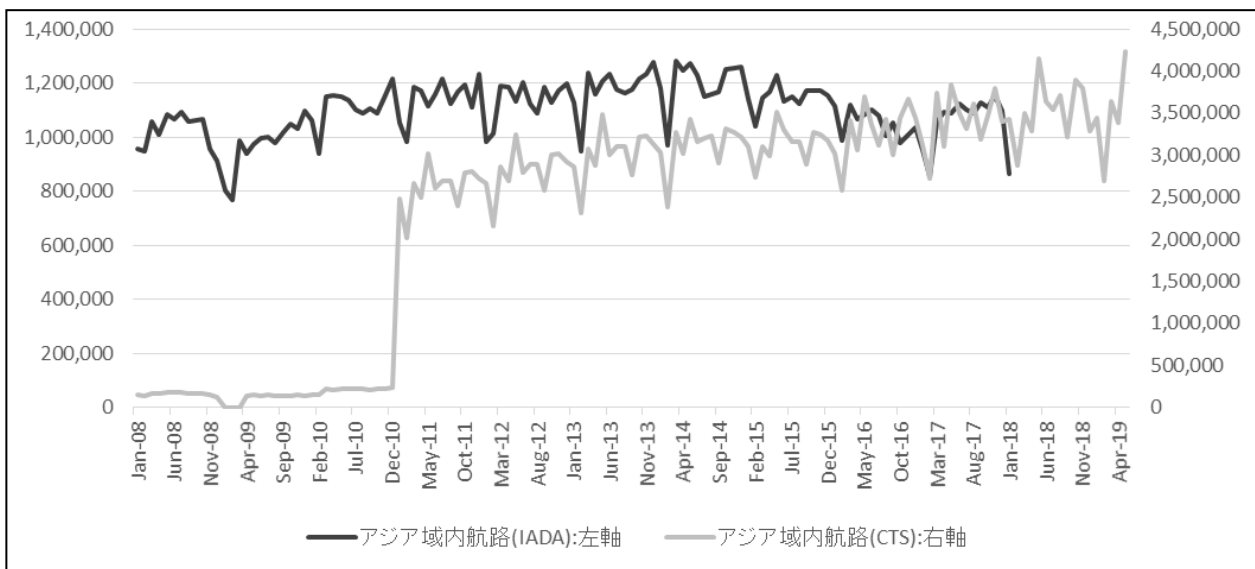


図 - 5 北米航路における運賃指数の推移 (単位 : ドル/TEU)

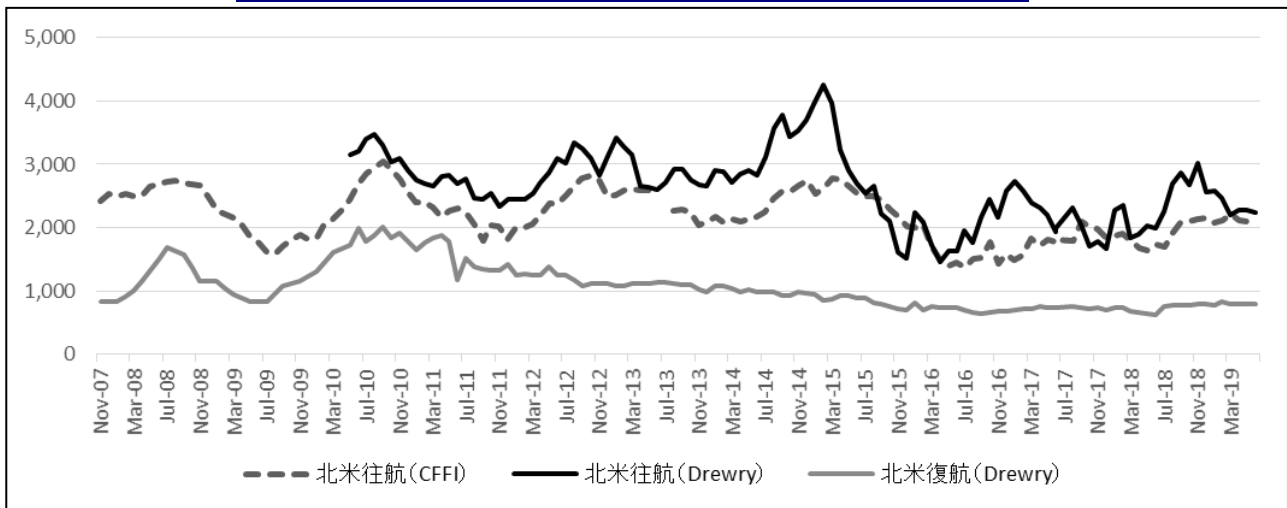


図 - 6 欧州航路における運賃指数の推移 (単位 : ドル/TEU)

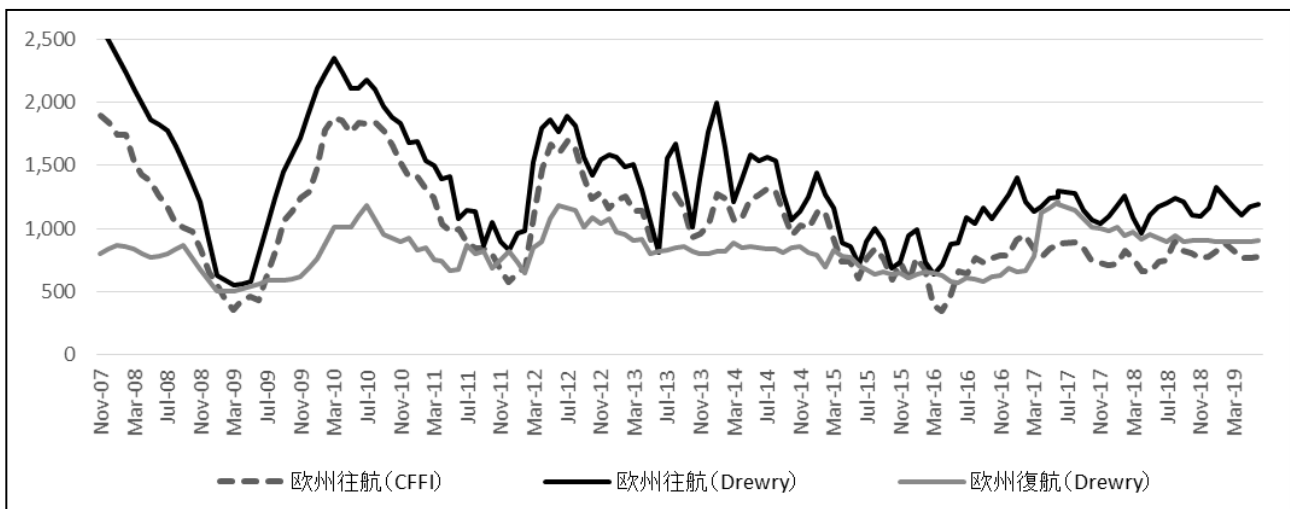
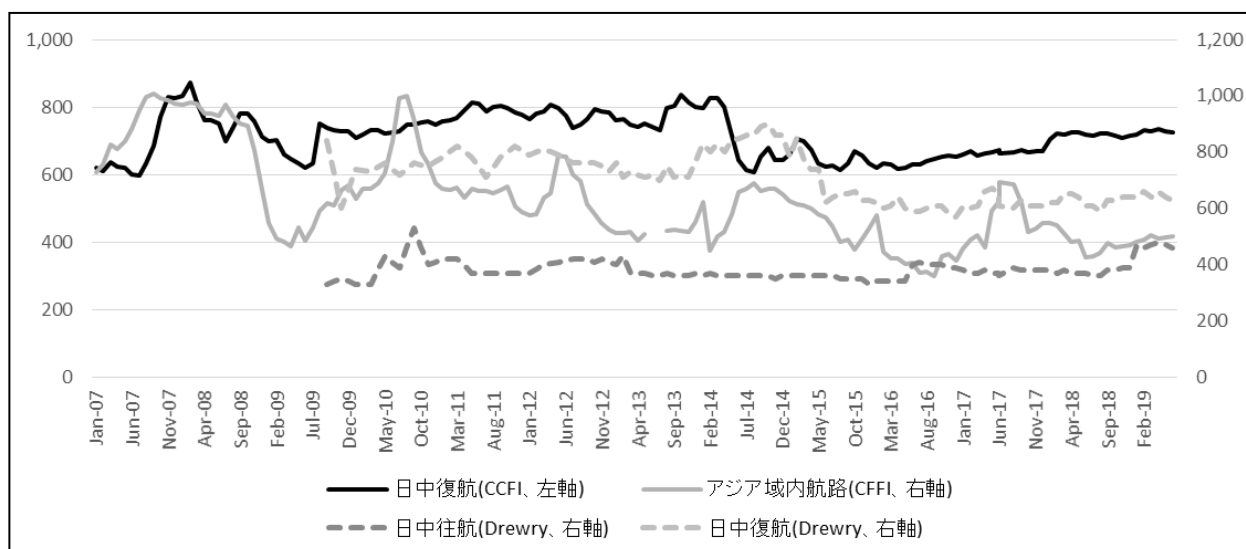


図 - 7 日中航路・アジア域内航路における運賃指数の推移 (単位 : 指数 (左軸)、ドル/TEU (右軸))



(参考) 輸送量・運賃データの出所

- 1.北米航路輸送量 : PIERS (Port Import/Export Reporting Service) データ
- 2.欧州航路輸送量 : Container Trade Statistics Ltd.
- 3.アジア域内航路輸送量 : IADA アジア域内配船主要船社取りまとめデータ、Container Trade Statistics Ltd. (CTS 社)
- 4.日中航路輸送量 (トンベース) : (公財) 日本海事センター企画研究部 (注意 : 財務省貿易統計に基づきトンベースで推計)
- 5.北米航路、欧州航路運賃指数 (往航では (CI,Drewry) と示した列、復航) : Drewry “Container Freight Rate Insight”:南中国 (塩田) と米国東岸 (ニューヨーク)、英国 (フェリックストウ) 間の運賃
- 6.北米航路、欧州航路運賃指数((CFFI) と示した列) : 中国国際海運網ウェブサイト <http://en.shippingchina.com/scfi/index/index.html>
- 7.アジア域内航路運賃指数 (毎月) : 中国国際海運網ウェブサイト (中国・東南アジア間航路の運賃指数) Drewry “Container Freight Rate Insight”:Intra-Asia Freight Rate Index(US\$/FEU)
- 8.日中航路運賃指数 :
 - ・ Clarkson Research “China Intelligence Monthly“ (上海航運交易所発表の中国輸出コンテナ運賃指数 ((CFFI) と示した列)) :
 - ・ **Drewry “Container Freight Rate Insight” (中国 (上海) と東京/横浜間の運賃) : 2014 年 4 月発表の資料より変更**
- 9.BDI (バルチック海運指数) :
 - ・ トランプデータサービス “World Maritime Analysis”
- 10.円ドルレート :
 - ・ FRB ウェブサイト <http://www.federalreserve.gov/econresdata/releases/statisticsdata.htm>